

安心して暮らせる

住みよいまちづくり

公住長寿命化計画や耐震化の補助制度など

基本目標

- ① 計画的・効率的な活用
昭和30年～50年代に整備し、居住水準や設備水準が低く耐用年限を過ぎた住宅の計画的建て替えや用途廃止。
- ② 安全と快適性を備えた住宅の形成
浴室や給湯など設備水準の向上や入居者の安全を確保しながらコスト削減での修繕や改善による長寿命化。
- ③ 誰もが安心して暮らせる住宅セーフティネットの構築
高齢者や障がい者が、安心して暮らせるような整備・改善を行うとともに、低所得者世帯を考慮した低家賃住宅の確保など。
- ④ 団地および地域コミュニティの活性化を促す公営住宅整備
高齢世帯や子育て世帯などさまざまな世帯が住む団地づくりや団地周辺も含めた憩いの場づくりを行う住宅整備。

町では、町民の皆さんにとって「住みよいまち」をつくるため、住宅などに関するさまざまな事業を行っています。

公営住宅等長寿命化計画策定をはじめ、個人住宅の耐震にかかわる補助金制度や太陽光発電システム導入事業などで、「子育てに引き続き、つづけることのできる」まちづくりを進めています。

☆公営住宅など☆

■公営住宅等長寿命化計画

この計画は、公営住宅などの建て替え、改善や維持管理の方針を定めたものです。全体の構想期間は、平成43年度までの20年間としていますが、具体的な計画期間を平成24年度から平成33年度までの10年間とし、5年ごとに計画を見直す中で、残り10年間についても具体的な計画としていく考えです。計画では、3ページの表にある75棟309戸の町営住宅の設備や入居状況など現状や課題を把握し「安心安全な住環境の構築」を基本理念として四つの基本目標を設定しました。

建て替えや個別改善で居住性向上

基本目標に沿って、建て替えによる整備以外にも既存住宅の課題を見極め、住宅に合わせた整備水準を設け、居住性向上を目的とした個別改善などを計画的に行うことで、「安心して住み続けることができるまちづくり」をめざしていきます。

■末広団地建設事業

平成24年度からスタートする末広団地建設事業は、長寿命化計画の建て替え計画にも含まれたものです。これまで建て替えや全面改修などを実施している末広団地ですが、平成23年度に新たな基本・実施設計を行い、本年度から平成27年度までの4か年で4棟12戸を建て替えし、6棟20戸を解体する予定です。今年度は、1棟3戸を建設する計画です。



町道末広線の東側に建設予定

☆個人住宅関係☆

■既存住宅の耐震診断および耐震改修の補助

地震が発生した際の被害を少しでも軽減するために、既存住宅の耐震診断や耐震改修工事を行う方に対して、費用の一部を補助しています。

昭和56年に国が作った「新耐震基準」では、震度5程度の地震では「建物が壊れない」ことを目的に定められています。

この基準以降に着工した建物は、耐震性を有するものとされており、町ではこの基準前に着工された住宅に自らお住まいの方を補助の対象としています。

詳細は、役場建設課に問い合わせるか、広報4月号に折り込みました補助制度のチラシをご覧ください。



■太陽光発電システム導入事業

近年、クリーンエネルギーや省エネルギーの重要性が高まっており、町としても環境負荷の少ないクリーンエネルギーの普及促進と町民の皆さんの住みよい生活環境の確立をめざすため、4月から新たに事業をスタートさせました。

対象は、自らまたは一親等の家族がお住まい(予定含む)の住宅に太陽光発電システムを新たに設置する方か、同システム付きの新築住宅を購入される方。申請は12月25日までとなっていますが、相談・申請は早めにお願います。補助内容などについては、役場農林商工課にお問い合わせください。

公営住宅の種類と戸数				
種別	団地	建設年度	棟数	戸数
町営	穂波団地	H6～H11	7	52
	幸栄団地	S54～S62	17	68
	末広団地	S37～H22	33	105
	日出団地	S56～H3	5	20
	小計	—	62	245
特定公共賃貸住宅	末広団地	H12	2	8
	メゾン銀河	H5	1	12
	メゾン100	H7	1	12
	メゾン2000	H12	1	12
	小計	—	5	44
公営住宅計			67	289
定住促進住宅	東幸町	H20.H21	4	8
町有	末広町教職員(町民賃貸)	S48.S49	4	12
町有住宅計			8	20
合計			75	309

※Hは「平成」Sは「昭和」